



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場取引所 大

上場会社名 田淵電機株式会社

コード番号 6624 URL <http://www.zbr.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 貝方士 利浩

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部統括

(氏名) 佐々野 雅雄

TEL 06-4807-3500

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	21,697	3.5	740	74.1	560	161.2	475	—
24年3月期第3四半期	20,957	△14.4	425	82.0	214	—	35	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 481百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △142百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第3四半期	11.75	—
24年3月期第3四半期	0.92	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	17,073	1,987	11.0
24年3月期	13,611	1,517	10.5

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 1,878百万円 24年3月期 1,433百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	32,000	20.3	1,000	107.9	700	229.7	400	—	9.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	40,502,649 株	24年3月期	40,502,649 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	70,318 株	24年3月期	68,020 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	40,433,531 株	24年3月期3Q	38,903,920 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要.....	3
4. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	8
(5) セグメント情報等.....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要など内需主導の支えはあったものの、海外経済の低迷や円高による輸出の減少もあり、依然として厳しい状況が続きました。また世界経済においても、欧州での金融不安を背景とした景気停滞、中国、新興国での成長鈍化など、全体として景気回復力の乏しい状態が続きました。

このような経営環境の下、当社グループでは、2012年7月からの再生可能エネルギーの固定価格買取制度の開始に伴い、一段と高まる「省エネ」「創エネ」「蓄エネ」ニーズに応えられるよう環境・エネルギー分野へのリソースの重点シフトに継続して取り組んでいます。具体的には、蓄電池対応ハイブリッドパワーコンディショナ等の商品ラインアップ拡充と共に、環境試験・実証実験などを強化し、品質保証体制の充実も図っています。また、LED照明用電源、産業・医療用電源の開発等、当社の独自技術による高付加価値商品の創出を図りました。

さらに、中国合弁会社の生産開始など海外生産の拡大や地産地消を推進して原価力の強化に取り組み、当社グループを挙げて収益の改善に努めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、薄型テレビ用電源やエアコン用リアクタが減少しましたが、パワーコンディショナ及びアミューズメント用電源が増加し、売上高は21,697百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益は740百万円（前年同期比74.1%増）、経常利益は560百万円（前年同期比161.2%増）、四半期純利益は475百万円（前年同期は四半期純利益35百万円）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメントごとの業績は次のとおりであります。

## ①変成器事業

変成器事業は、エアコン用リアクタの減少等により、売上高は5,620百万円（前年同期比12.5%減）、営業利益は272百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

## ②電源機器事業

電源機器事業は、パワーコンディショナやアミューズメント用電源が増加し、売上高は16,077百万円（前年同期比10.6%増）、営業利益は468百万円（前年同期比229.2%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は17,073百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,462百万円増加しました。これは主として、たな卸資産が1,285百万円、有形固定資産が1,258百万円、受取手形及び売掛金が917百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は15,086百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,992百万円増加しました。これは主として、支払手形及び買掛金が1,756百万円、有利子負債が885百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は1,987百万円となり、前連結会計年度末に比べて469百万円増加しました。これは主として、利益剰余金が475百万円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期連結業績予想は、平成24年5月15日公表の業績予想から変更はありません。

## ・連結業績予想（通期）

売上高	32,000百万円	（前年同期比	120.3%）
営業利益	1,000百万円	（前年同期比	207.9%）
経常利益	700百万円	（前年同期比	329.7%）
当期純利益	400百万円	（前年同期比	—

当第4四半期の為替レートは1ドル88円を前提としております。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これに伴う当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、平成21年3月期におきまして重要な当期純損失を計上しました。前連結会計年度には、東日本大震災に続き、タイ洪水の発生による生産活動の一部停滞などの影響はあったものの、営業利益、経常利益は黒字となりましたが、投資有価証券の減損処理による特別損失の計上等により、当期純利益は損失となりました。当第3四半期連結累計期間におきましては、パワーエレクトロニクス事業の拡大などにより、営業利益、経常利益、四半期純利益とも黒字となりました。

引き続き厳しい経営環境が見込まれる中、当社グループでは、当該重要事象を解消するため、中期経営計画に基づき、電源機器事業については産業・医療用電源等、より高付加価値が見込まれる分野へリソースをシフトしております。加えて、十数年にわたる住宅向け太陽光発電用パワーコンディショナの国内トップメーカーとしての基盤を生かし、昨今注目を集めているクリーンエネルギーを中心としたEMS（エネルギーマネジメントシステム）関連分野へ注力してまいります。

具体的には、「蓄電池対応ハイブリッドパワーコンディショナ」など住宅向けパワーコンディショナや中規模施設向けの中容量パワーコンディショナ等のラインアップの拡充に加え、10kWパワーコンディショナ積層によるメガワット発電システム案件に参入します。また、太陽光・風力・燃料電池・蓄電池等の多種のエネルギー源に対応し、発電から電力変換・蓄電・消費までを総合最適化する高度EMSに取り組んでおります。さらに、アルミニウムリッツ線の接合技術による「ワイヤレス給電システム」等、当社独自技術を駆使した高付加価値商品群の開発に社内資源を集中させ、積極的な市場展開を図っております。

そのために、コスト競争力強化を図るための海外生産展開や生産能力増強に向けた設備投資、及び、研究開発投資などにより事業基盤を強化し、着実に収益体質及び財務体質の改善につなげてまいります。

当社グループは、上記施策を着実に実行することで、当該重要事象を解消できるものと考えております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,556	1,597
受取手形及び売掛金	3,294	4,212
商品及び製品	1,670	2,465
仕掛品	345	597
原材料及び貯蔵品	1,922	2,161
繰延税金資産	16	17
その他	444	498
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	9,251	11,549
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	1,472	2,153
その他(純額)	1,137	1,714
有形固定資産合計	2,610	3,868
無形固定資産		
	160	224
投資その他の資産		
投資有価証券	1,278	1,219
その他	300	205
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	1,577	1,424
固定資産合計	4,347	5,517
繰延資産	11	6
資産合計	13,611	17,073

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,840	6,596
短期借入金	1,793	2,454
1年内返済予定の長期借入金	1,083	1,436
1年内償還予定の社債	260	260
リース債務	208	225
未払法人税等	68	23
賞与引当金	115	87
製品保証引当金	—	68
その他	668	981
流動負債合計	9,038	12,132
固定負債		
社債	280	150
長期借入金	1,770	1,709
リース債務	249	295
退職給付引当金	613	641
その他	141	156
固定負債合計	3,055	2,953
負債合計	12,093	15,086
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,611	3,611
資本剰余金	416	416
利益剰余金	△1,604	△1,128
自己株式	△12	△12
株主資本合計	2,411	2,885
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	△174
繰延ヘッジ損益	△4	△8
為替換算調整勘定	△971	△824
その他の包括利益累計額合計	△977	△1,007
少数株主持分	84	108
純資産合計	1,517	1,987
負債純資産合計	13,611	17,073

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	20,957	21,697
売上原価	18,875	19,249
売上総利益	2,082	2,448
販売費及び一般管理費	1,656	1,707
営業利益	425	740
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	7	5
為替差益	—	102
持分法による投資利益	19	9
その他	14	12
営業外収益合計	44	130
営業外費用		
支払利息	121	137
為替差損	41	—
デリバティブ損失	17	119
その他	74	54
営業外費用合計	255	311
経常利益	214	560
特別利益		
固定資産売却益	6	62
特別利益合計	6	62
特別損失		
固定資産除売却損	1	2
投資有価証券評価損	28	—
特別退職金	3	3
退職給付制度移行損失	18	—
特別損失合計	51	5
税金等調整前四半期純利益	169	617
法人税、住民税及び事業税	116	102
法人税等調整額	△2	10
法人税等合計	114	113
少数株主損益調整前四半期純利益	55	504
少数株主利益	19	28
四半期純利益	35	475



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	55	504
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50	△171
繰延ヘッジ損益	△11	△4
為替換算調整勘定	△85	101
持分法適用会社に対する持分相当額	△50	51
その他の包括利益合計	△197	△22
四半期包括利益	△142	481
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△152	445
少数株主に係る四半期包括利益	9	35

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	変成器事業	電源機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,426	14,531	20,957	—	20,957
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,248	—	1,248	△1,248	—
計	7,674	14,531	22,205	△1,248	20,957
セグメント利益	291	142	433	△7	425

(注) 1. セグメント利益の調整額△7百万円には、のれん償却額△6百万円等が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注1)
	変成器事業	電源機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,620	16,077	21,697	—	21,697
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,416	—	1,416	△1,416	—
計	7,037	16,077	23,114	△1,416	21,697
セグメント利益	272	468	740	—	740

(注) 1. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。